



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)



## 安倍「国葬」やめろ 全国で反対、抗議の声

小倉駅で街宣活動

9月27日(火)、安倍国葬の当日、同時に、有志が街宣活動に取り組みました。

今日は、国葬の開始時刻に合わせて小倉駅前でスタンディング。特段、ピラやスピーチは必要ないだろうと思って、それぞれのプラカードなどを持ってサイレントなアピール。

幾人か「あれはひどいよ。税金をあんふうに使ったらだめよ」という通りがかりの女性や、「国葬は反対です」という高校生などが声をかけていました。新聞記者も毎日と西日本、二人ほど取材に来ていました。RKBも映像だけ撮っていたようですけど。ある記者「この時間、ここに来れば、何かやっているんじゃないだろうかと・・・」ここに来れば何かある・・・という場所になっているんですね。さて、これからは、国会開いて、この国葬問題や統一協会問題、東京五輪汚職、物価高と賃金、徹底追及してもらわなければなりません。

このことと一体となった今後の市民運動、労働運動が大切だと思います。

(竹内俊一氏 FB より)



国会前1万5000人

「国葬やめろ！」一北海道から沖縄まで全国各地で抗議の声があがるなか、岸田内閣は27日、安倍晋三元首相の「国葬」を強行しました。

午後2時に東京都千代田区の日本武道館で「国葬」が始まると同時に、国会前では市民が大行動をスタート。識者や市民運動家、日本共産党の志位和夫委員長はじめ立憲民主党、れいわ新選組、社民党の野党各党代表が演壇でスピーチしました。

「国葬」では、岸田文雄首相、菅義偉前首相が、安保法制や秘密保護法の強行など立憲主義破壊の安倍政治を礼賛しました。

(しんぶん赤旗より)

小倉駅前「平和ネット」街宣活動



9月26日(月)、安倍国葬の前日、「平和をあきらめない北九州ネット」が安倍国葬反対の街宣活動に取り組みました。呼びかけには、約90名が参加し賑やかでした。チラシを配布し、署名活動もしました。次々にマイクを握ってのリレートークにも熱がこもっていました。リレートークには、飛び入りの市民2名が参加。国葬反対の広がりを感じました。

## 八幡西区革新懇が第10回総会を開催 3つの共同目標実現へ

9月24日(土)午後2時から、黒崎コムシティで八幡西区革新懇第10回総会が開かれました。コロナ禍でしたが21名の参加がありました。

総会の記念講演では、北九州革新懇代表世話人の三輪俊和さんに、「憲法九条を生かした日本の安全保障を考える」というテーマで、パワーポイントを使って縦横に語っていただきました。

後半の「総会」は、プログラム通りに順調に進行しました。来賓挨拶は、西区選出の共産党伊藤市議と永井市議のお二人。

総会議事(案)をそれぞれが提案し、最後に参加者全員の拍手で承認されました。

この後、「安倍元首相の『国葬』反対アピール」が読み上げられ、参加者全員で反対の意志を確認しました。今、革新懇「三つの共同目標」の実現が求められていることを改めて感じた記念講演と総会でした。



北九州革新懇代表世話人の三輪俊和さんの講演を聞く参加者の皆さん

## 北九社保協通信

報告・資料集 2022年9月号  
9月27日 事務局発行

### 「生保基準引き下げ違憲訴訟」北九州原告のつどい開催

#### 福岡控訴審にむけ、3つの勝利判決を力に！

9月12日(月)に八幡東区のレインボープラザにて、生保基準引き下げ違憲訴訟を闘っている北九州の原告を励ますつどいが開催されました。当日は原告をはじめ、北九社保協会長の高木弁護士を中心とした弁護団、裁判を支援している生健会、北九社保協から総勢19名が参加しました。この「いのちのとりで裁判」ですがこの間、大阪・熊本・東京で勝利判決を勝ち取っていますが、この日は田嶋弁護士から3つの勝利の概要説明をさらに高木弁護士から勝訴内容の違いをまとめた表でさらに分かりやすく解説してもらいました。この裁判で争点となっている「ゆがみ調整とデフレ調整」についてはそれぞれの裁判所で判断基準に差異があるもの、国が引き下げをおこなった経緯について判断の過程・手続きに過誤、欠落がある点や専門的知見による分析や基準部会での議論も経ていない点が勝訴に繋がったことがよくわかりました。その後、原告から多くの質問や意見が出され最後に「東京で勝利判決が出たことは今後の各地判決に影響を与え」という弁護団の言葉に勇気をもらおうと同時に今後の福岡での控訴審にむけ、元気の出るつどいとなりました。



勝利判決の中身をわかりやすく説明する高木会長



弁護団の解説に耳を傾ける原告の皆さん

### 「生保110番」に9件の相談。当日以外にも連日、相談が・・・

#### 長引くコロナ禍に物価高騰が低年金高齢者の生活を直撃！



9月20日(火)に2ヶ月に1度、継続実施している「生活保護110番」を実施しました。マスコミの取材はなかったものの、地域配布のチラシをみての相談が9件ありました。また、当日以外にも今回のチラシを見ての相談が連日、舞い込んでいます。内容も多岐にわたり「低年金の高齢タクシー運転手。コロナの影響で売り上げ上がらず収入減。生活ができない」「85歳の警備員。低年金のため仕事をしているが、身体がもう限界」という方々には生保申請のアドバイスを。また、「障害を持つ高齢女性。少ない年金で何とか生活してきたが物価が上り大変。病院にもかかりたいが医療費が出せない」という相談者には、対応した健和会大手町病院のMSWが無料低額診療制度の活用をすすめ、申請へとつなげました。

コロナ電話相談会を実施します！10月22日(土)10時～22時

(フリーダイヤル) 0120-157-930 全国どこからかけても無料

2023北九州市長選 候補者選び 最終段階

10月19日午前、市民の会・区民の会合同会議が市立戸畑生涯学習センターで開催され、来年1月に予定されている北九州市長選挙に向けての現状の取り組みなどについて意見交換しました。



市長選に向けて議論する合同会議メンバー

三輪事務局長より、これまでの市民の会の活動報告があり、北九州市長選挙の候補者選定については「現時点ではまだ決まっていない」との報告があり、最終的な段階にあることも示されました。

市長選候補者選びに先立って、政策討議資料を市民の会加盟団体に配布し議論してもらった結果、曾根9条の会から「防災対策と避難所」の問題、小倉南区にスポーツ施設が存在しないことを改善してほしいと要望があがりました。

合同会議では、高潮被害が想定される地域での門司港複合施設建設計画や、災害時の避難施設に指定されている介護施設の問題点、高齢者福祉乗車券創設に向けた市民運動のあり方などが報告され、情報共有を図りました。

北九州市長選をめぐるのは、すでに元官僚出身の2人が保守陣営から出馬することを表明。北橋現市長は出馬しない意向を示しています。

9条の会・北九州憲法ネット 記念講演で運動展望



憲法をめぐる現状での展望が示された記念講演の様子

10月1日(土)、「9条の会・北九州憲法ネット」が第19回総会と記念講演会を開催しました。

第19回総会では、過去1年間の運動を総括し、今後1年間の活動方針案が提案され採択されました。

記念講演は、川田忠明氏(日本平和委員会常任理事)が「憲法をめぐる重大局面と運動の展望」と題し、32枚のスライドを使用してわかりやすくお話されました。

2022平和のための戦争展 実行委員会で総括

10月5日夜、平和のための戦争展の実行委員会が市立生涯学習総合センターで開催され、9月27-28日開催の戦争展について総括しました。

当日は多くの参加者から感想文が寄せられ、ウクライナ問題の記念講演、平和資料館メンバーの座談会、青年の主張は評判が高く、来年はもっと若い人が参加できる仕掛け、周知が必要なども意見が出ました。



報告書の郵送準備も行った実行委員会

八幡市民会館の活用を求める連絡会(第72回)開催

記念冊子が完成 刊行記念集會も検討

10月6日(木)、上記連絡会が開催され、経過報告のあと、諸課題について熱心に討論・検討しました。

以下、決定した内容です。

- (1) 記録冊子(パンフレット)について 10月7日納品、頒布について検討しました。
(2) 「埋蔵文化センターの移転を止め、市民会館としての活用を求める」方策について
(3) ①情報公開制度 ②陳情請願制度 ③公共施設マネジメントという「3つの課題」について

①情報公開制度については、市民の会が市民運動団体の交流会を開催します。

③公共施設マネジメントについては、市民の会が講演会を開催します。

10月23日(日)14:00~ ムーブ・大セミナールーム 「公共施設マネジメント計画、立地適正化計画の対抗軸」 講師:奈良女子大学生生活環境学部教授・中山徹氏
11月12日(土)14:00~16:00 ムーブ・大セミナールーム

(4) 記録冊子(パンフレット)の刊行を記念しての集會の開催について年内の開催は難しいので年明けから計画し開催する方向で検討する。

次回連絡会は、10月28日(金)13時30分 八幡大谷市民センター

憲法いいね 憲法活かして広げよう! 11・3北九州集会



とき 11月3日(祝 憲法公布の日) 14時から
ところ 勝山公園 図書館横広場 終了後 デモ行進 コス会場から小倉駅前まで

日本に憲法9条があつてよかつたと思いませんか?
最近、ロシア政府は「部分的動員令」を発し、ウクライナに向け新たに30万人とも100万人ともいわれる徴兵を命じました。これに対し、多くのロシア市民は抗議行動を行いました。...

研究所設立45周年記念 第42回福岡県自治体フォーラム

11/6(日) 時間 9:30開場、10:00開会、全体会12~13.00 昼休み、分科会13~16.00
会場 福岡県立ももち文化センター(福岡県福岡市早良区百道2-3-15)
電話:092-851-4511 駐車場:地下鉄空橋線「空橋駅」から徒歩約2分
参加費:1000円(会場費・テキスト代)

戦争するヒマありません、日本国憲法はいのちのタスキ、今つなぎ合わせよう
「ギャンブル依存症の恐ろしさと国のザル法」 記念講演 講師:帯木蓮生先生(作家・精神科医、中関市在住) ※先着150名

- 分科会:名称、報告テーマと報告者
1 日本国憲法をどう活かすか...これからの日本と世界
2 日本国憲法を守り活かすために...井下 聡・弁護士
3 コロナ禍が浮き彫りにした行政の現状と主権者・市民の課題
4 食料危機は来るか
5 食料自給と地産地消システム...野見山敏雄・東京農工大名教授
6 住民主体のまちづくりをどう動かすか
7 関わる日本人の歴史認識・加害の歴史にも目を向けよう